

LIXIL オーバードアS 通信ユニット後付け用配線 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>



注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
〈推奨トルク〉 φ4ネジ：1.8N・m±0.5N・m（18kgf・cm±5kgf・cm）
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。

<施工上のご注意>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

<電気配線工事について>

注意

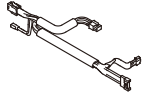

- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 電動用電線ケーブルは必ず、過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- 電動支柱（支柱）には必ずアース（D種接地工事）をとってください。

ポイント

- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管（呼び径14）、電源ケーブル、アース棒が必要となりますので、用意してください。






■梱包明細表

【1】通信ユニット後付け用配線セット

名称	略図	員数
機器接続配線		1
【1-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種（D=8）		2
取付説明書〈D642〉	—	1

【2】ゲート用通信ユニット

オプション

名称	略図	員数	
		1台用	2台用
ゲート用通信ユニット		1	1
車載リモコン		1	2
USBケーブル		1	2
車載リモコン用クッション		2	4
フェライトコア		1	1
ゲート用通信ユニット 設定ガイド	—	1	1
車載リモコン 設定ガイド	—	1	1

1. 各部の名称

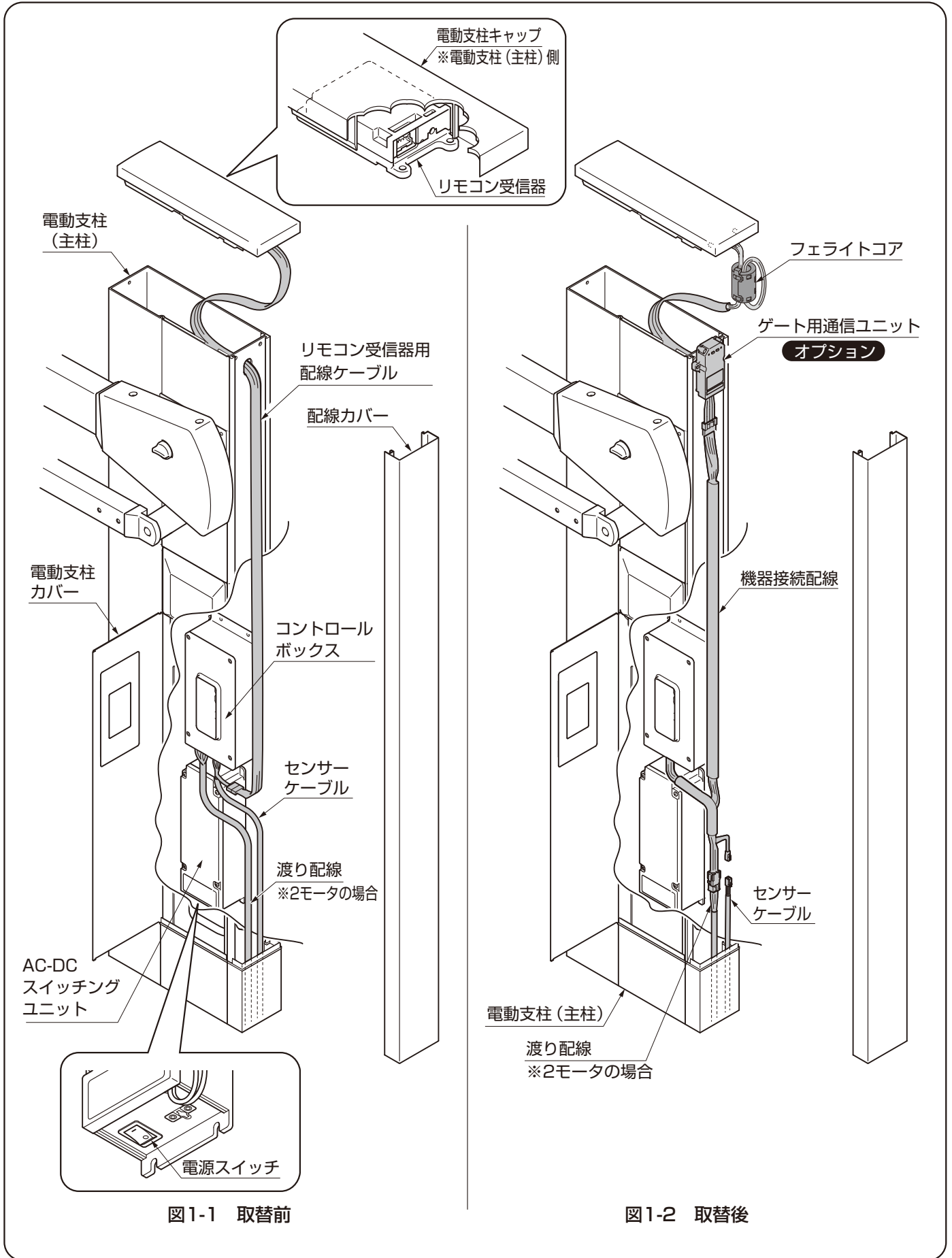
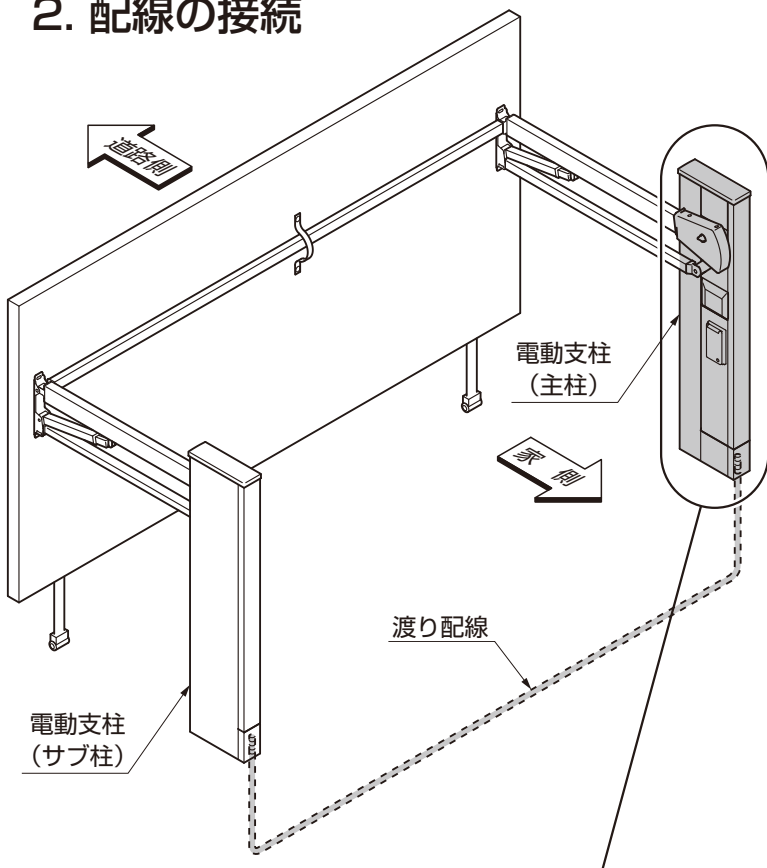


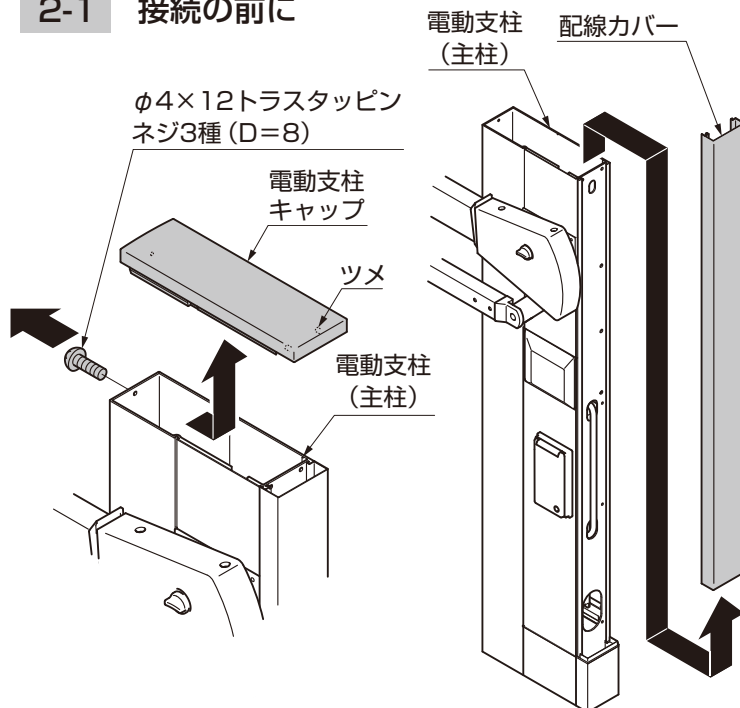
図1-1 取替前

図1-2 取替後

2. 配線の接続



2-1 接続の前に



- ① 電動支柱キャップを電動支柱(主柱)から取外してください。
- ② 配線カバーを電動支柱(主柱)からスライドして取外してください。

補足

- 取外した「φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)」は、後工程の配線の接続後に取付けますので、無くさないように保管してください。

2-2 配線の接続

ポイント

- ゲート用通信ユニット取付穴をあける際は、寸法に十分注意してください。ゲート用通信ユニットの取付位置が適切でない場合、リモコン受信器やゲート用通信ユニットの受信感度に影響し、電波障害を起こす場合があります。

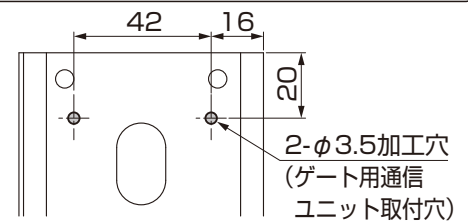


図2-1 電動支柱(主柱)への穴加工

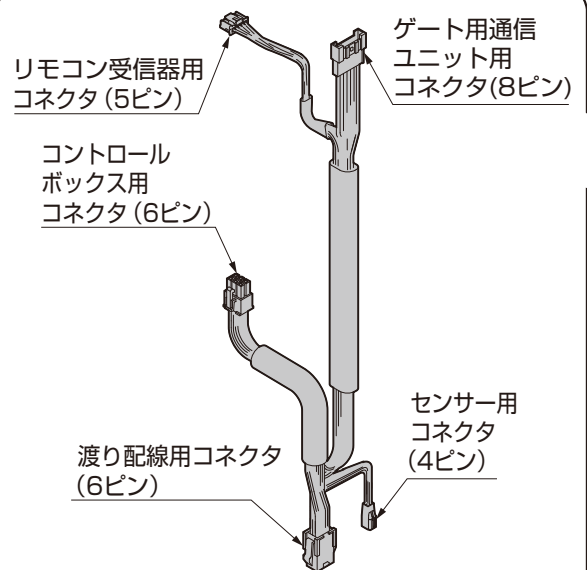


図2-2 機器接続配線

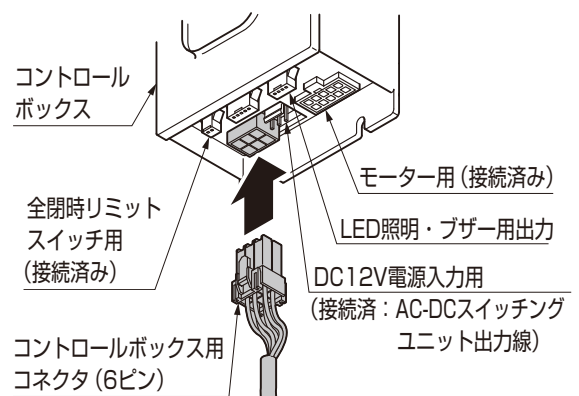


図2-3 コントロールボックス用コネクタの接続

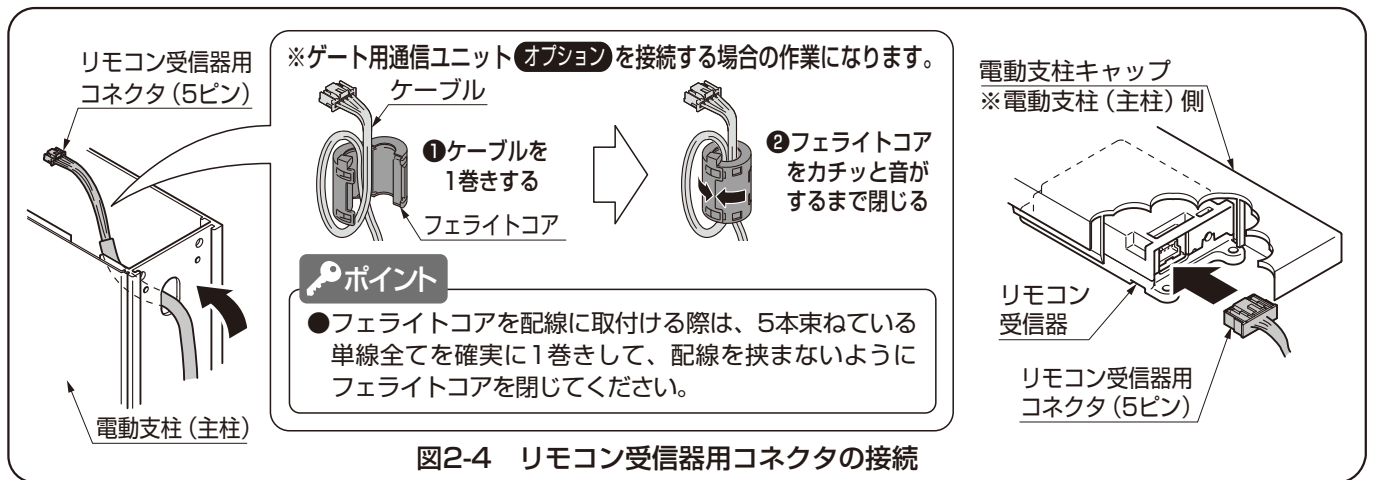


図2-4 リモコン受信器用コネクタの接続

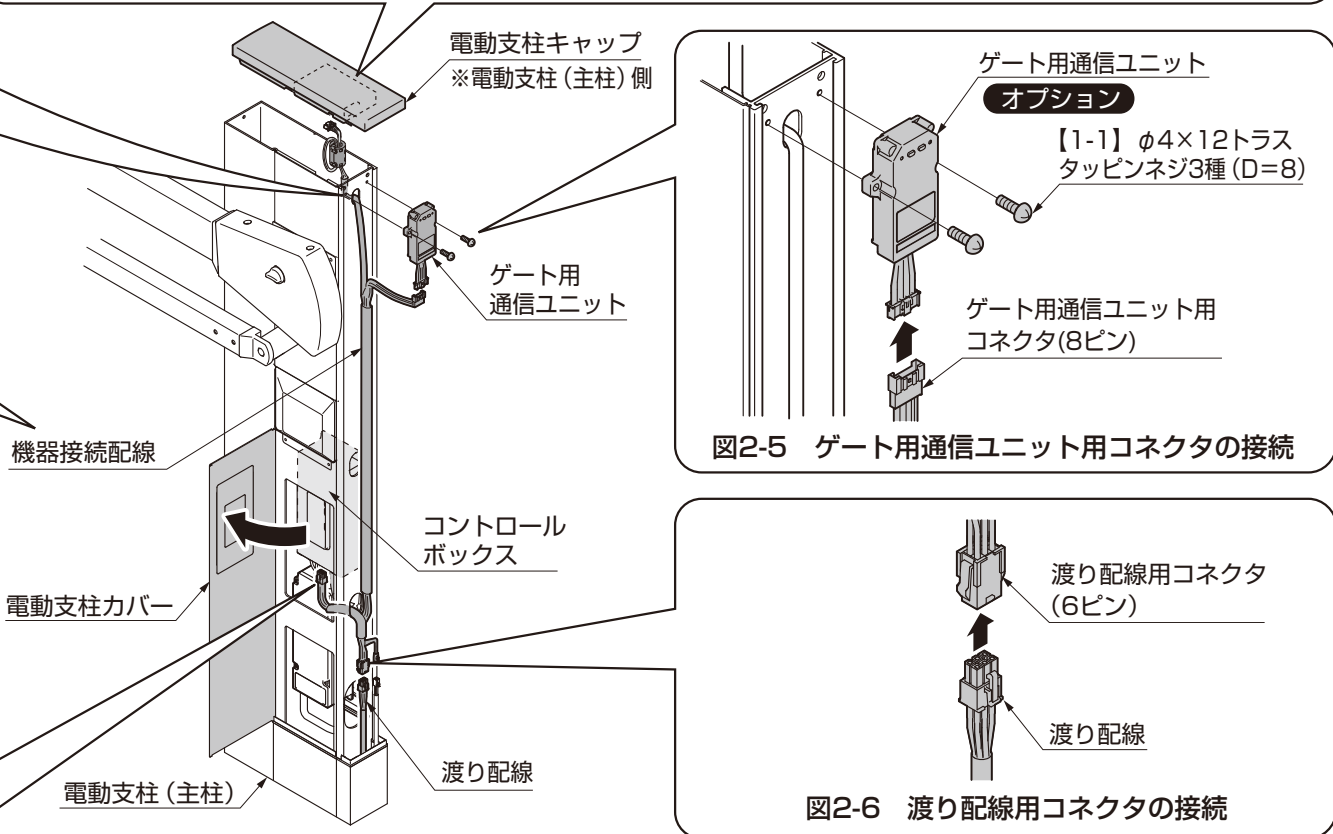


図2-6 渡り配線用コネクタの接続

- ①電動支柱 (支柱) の電動支柱カバーを開いてください。
- ②ゲート用通信ユニット **オプション** を使用する場合で、ゲート用通信ユニット取付穴がない場合は、加工してください。(図2-1参照) 既に加工されている場合は、本作業は不要です。
- ③機器接続配線のコントロールボックス用コネクタ (6ピン) を電動支柱 (支柱) のコントロールボックス横の長穴に通し、コントロールボックスに接続してください。(図2-3参照)

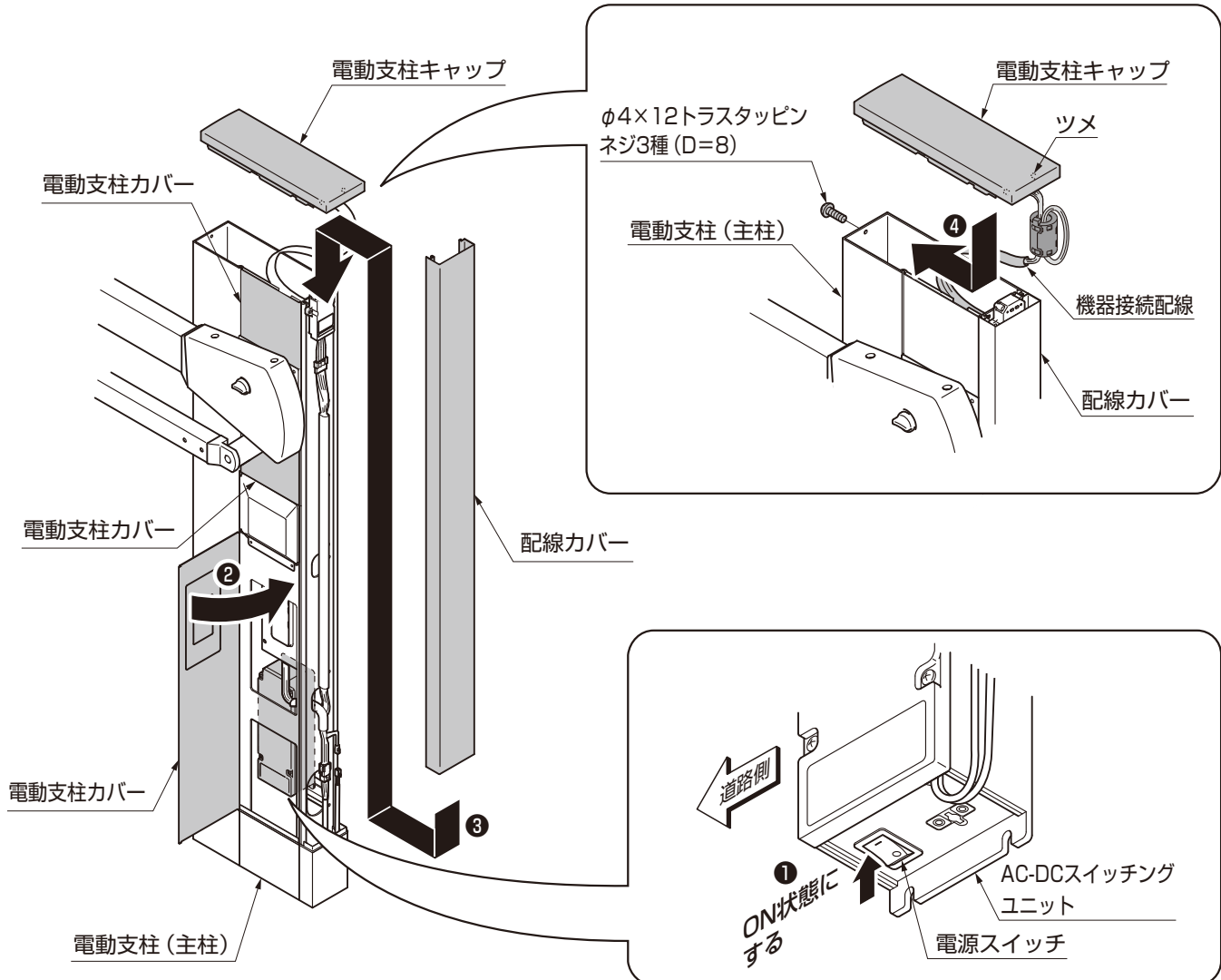
補足

●機器接続配線をコントロールボックスに接続する際に、前面に接続されているリミットスイッチ用コネクタを一度外してから取付けてください。取外したコネクタは、配線後に再度確実に接続してください。

- ④機器接続配線のリモコン受信器用コネクタ (5ピン) を電動支柱 (支柱) 上部の長穴に通し、リモコン受信器に接続してください。ゲート用通信ユニット **オプション** を使用する場合、フェライトコアを配線に取付けてから機器接続配線のリモコン受信器用コネクタ (5ピン) をリモコン受信器に接続してください。(図2-4参照)
- ⑤ゲート用通信ユニット **オプション** を使用する場合、ゲート用通信ユニットを電動支柱 (支柱) に【1-1】で固定し、ゲート用通信ユニット用コネクタ (8ピン) を接続してください。(図2-5参照)
- ⑥2モータの場合、渡り配線用コネクタ (6ピン) に渡り配線を接続してください。(図2-6参照)

2. (つづき)

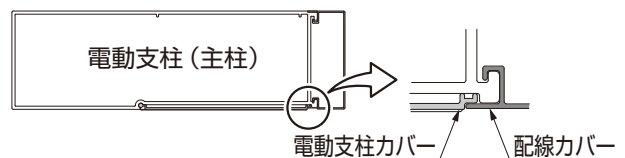
2-3 接続の後に



- ①AC-DCスイッチングユニットの電源を「ON」にしてください。
- ②電動支柱カバーを閉じてください。
- ③配線カバーを電動支柱(主柱)に取付けてください。

ポイント

- 配線カバーをスライドする際は、電動支柱カバーが必ず配線カバーの内側になるようにしてください。電動支柱カバーが、配線カバーの内側に入っていないと、電動支柱カバーが開いて、アームが動作中破損してしまいます。



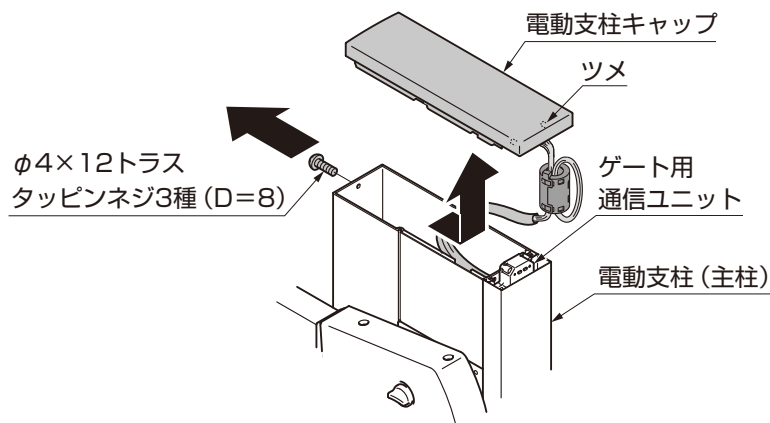
- ④電動支柱キャップをスライドさせて電動支柱(主柱)にツメを引っ掛け、「φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)」で取付けてください。

注意

- 配線カバーの取付けおよび電動支柱キャップの取付けの際に、機器接続配線をはさまないように注意してください。また電動支柱(主柱)内に納める際に、駆動部品に絡まないように注意してください。断線やショートにより作動不良や途中停止の原因になり、耐久性への影響や事故につながるおそれがあります。

3. ゲート用通信ユニットの登録方法

3-1 登録の前に



①「φ4×12トラス タッピンネジ3種(D=8)」を取外し、電動支柱キャップを電動支柱(主柱)からスライドさせて取外してください。

補足

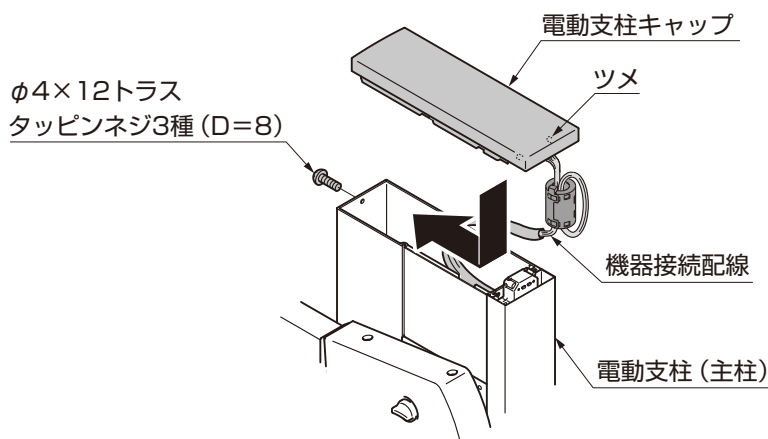
●取外した「φ4×12トラス タッピンネジ3種(D=8)」は、後工程の登録完了後に取付けますので、無くさないように保管してください。

3-2 登録

補足

●ゲート用通信ユニットの登録方法は、ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」及び「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

3-3 登録完了後に



①電動支柱キャップをスライドさせ、電動支柱(主柱)に「φ4×12トラス タッピンネジ3種(D=8)」で取付けてください。

注意

●電動支柱キャップの取付けの際に、機器接続配線をはさまないように注意してください。また電動支柱(主柱)内に納める際に、駆動部品に絡まないように注意してください。断線やショートにより作動不良や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

4. 車載リモコン、スマートフォンによる操作方法

補足

●車載リモコン、スマートフォンによる操作方法は、ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」及び「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

5. 動作確認

確認	異常	処置
車載リモコン、スマートフォンの「開」「閉」「停」はそれぞれ正常に作動しますか	車載リモコン、スマートフォンで作動しない	・ホームネットワークシステム「ゲート用通信ユニット」及び「車載リモコン」設定ガイドを参照してください。

6. 仕様

項目	仕様
入力電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力(作動時)	8.4W 0.08A (1モータ)、16.8W 0.17A (2モータ)
モータ定格出力	10W
周囲温度	-10℃~50℃
開閉時間	約16秒
操作方法	電動タイプ リモコン送信器(押ボタンスイッチ(※))
	ホームネットワークシステム連動 リモコン送信器、車載リモコン、スマートフォン(押ボタンスイッチ(※))
リモコン到達距離(見通し距離)	リモコン送信器:約10m 車載リモコン:約30m

※施工時や非常時、リモコン電池切れの際に、コントロールボックスの押ボタンスイッチで操作が可能です。

ポイント

- リモコン到達距離は、周囲の環境や電波障害などにより、短くなることがあります。

取説コード

D642

JZZ633958
201704A_1039